

平成30年度事務事業評価シート(29年度実績)

◎基本情報

事務事業名		地域子育て支援拠点事業(商業施設活用)		担当部署	健康福祉部 子どもいきいき課	
総合計画体系				根拠法令 計画など	鳴門市地域子育て拠点事業実施要綱 鳴門市子ども・子育て支援事業計画	
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり		事業期間	開始	平成 22年度
政策(中項目)	2	子どもたちの笑顔と歓声が聞こえるまち なると			終期	未定
(小項目)		児童福祉				
施策	2	児童福祉の推進				
基本事業	3	子育て家庭への支援				

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 概ね3歳未満の乳幼児とその保護者(ひろば) 生後4か月までの乳児とその保護者(おめでとう赤ちゃん訪問) 妊婦とその家族(マタニティ)						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	妊婦や乳幼児の保護者が相互に交流を行う場所を設定し、また、4か月の乳児がいる世帯を保育士等が全戸訪問することで、子育てに関する情報交換や相談、交流等の機会をつくり、子育ての不安感を緩和し保護者の孤立化の解消を図る。						
事業計画	29年度に何を計画していたか	子育て家庭の情報交換や相談の場である「ひろば」を実施するほか、「おめでとう赤ちゃん訪問事業」及び「にこにこマタニティ事業」についても引き続き実施する。子どもが生まれる前から連続した子育て支援を行うことにより、妊娠・出産・育児と切れ目のない支援を実施する。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	単位
		ひろば参加親子数	6,000	6,500	6,500	6,500	6,500	組

◎実施結果(DO)

事業実施内容	29年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	「おめでとう赤ちゃん訪問事業」で訪問した家庭に対し、本市の子育て支援情報を1冊にまとめた『子育てガイド』を配布し、本市の子育て支援事業を周知した。また、訪問時に育児に負担感を感じる家庭等に対し、市内各所で実施している拠点事業の利用を促し、アドバイス等を行うことで当該負担感の軽減に取り組んだ。					
事業実施手法		<input type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他					
指標名		28年度実績	29年度実績	30年度目標	31年度目標	32年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1 訪問乳児数	305	270	300	300	300	人
	2 ひろば開催日数	327	327	340	340	340	日
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	ひろば参加親子数	6,476	5,930	-	-	-	組
	目標達成率(実績/目標)		91.2	-	-	-	%
今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況		計画どおり			

(千円)

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
	平成29年度	当初予算額	4,147	4,147	0	0	4,661	12,955
		補正予算額	22	22	0	0	△ 32	12
		繰越予算額	0	0	0	0	0	0
		全体予算額	4,169	4,169	0	0	4,629	12,967
		決算額	4,169	4,169	0	0	4,629	12,967
		繰越額	0	0	0	0	0	0
		人件費	正規職員(7,234千円/人)	臨時職員(2,492千円/人)		総人件費		総事業費
		0.2	0.0		1,447		14,414	

【鳴門市行政評価】

【事務事業名:地域子育て支援拠点事業(商業施設活用)】

事業費推移	年度	28年度決算	29年度決算	30年度	31年度	32年度
	事業費	12,918	12,967	14,400	14,400	1,440
	うち一般財源	4,624	4,629	6,062	6,062	6,062
	人件費	1,427	1,447	1,447	1,447	1,447
	総事業費	14,345	14,414	15,847	15,847	2,887

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	A:有効性があった		「にこにこ広場」、「出張にこにこ広場」ともに安定して利用者がおり、子育て家庭の支援策として効果をあげている。
	効率性	A:効率的だった		親子で楽しめるイベントや講演会等を開催することで参加者の増加を図っており、多くの子育て家庭が交流する機会となっている。
②成果に対する評価	指標名	ひろば参加親子数		地元の子育て中の親子に事業が根付いており、子育て家庭が気軽に集い、うち解けた雰囲気の中で相互に交流を図る場を提供できている。 「にこにこマタニティ」の実施により、子どもが生まれる前から「居場所や相談場所がある」と感じてもらっている。
	目標	6,500	組	
	実績	5,930	組	
	評価	B:概ね目標を達成できた		
③総合的な評価		A		子育て家庭同士の横のつながりの場や、保育士等の専門的な知識を持つ者に気軽に相談できる場を提供することは、大変重要、かつ必要な事業である。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	今後も事業を安定して実施するよう、事業実施場所を耐震化完了施設に移動させる。必要な人に必要な情報と支援が届くよう、事業周知を今後も推進する必要がある。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	H30年度	より利用者が安心して利用できるよう、耐震化完了施設に移動し活動を行う。各種事業に継続して取り組む中で、多くの方に利用してもらえるよう周知等を図る。			
	H31年度	継続			